

会 議 録

会議名 (審議会名)		第41回相模原市地域包括支援センター運営協議会		
事務局 (担当課)		地域包括ケア推進課 電話042-769-9231 (直通)		
開催日時		令和5年1月26日(木) 午前10時30分～正午		
開催場所		相模原市役所 第1特別会議室		
出席者	委員	18人(別紙のとおり)		
	事務局	10人(地域包括ケア推進部長、地域包括ケア推進課長ほか8人)		
	その他			
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) 全国統一評価指標による地域包括支援センター等の事業評価について (2) 地域づくりについて ①令和4年度地域ケア会議(地域づくり部会)の取組状況について ②高齢者移動支援推進モデル事業について ③シニアサポート活動及び担い手の育成に関する取組状況について (3) 相模台第2地域包括支援センターの移転について 3 報 告 (1) 健康づくり推進条例について (2) 津久井地域における高齢者等の移動支援について (3) 令和4年度重層的支援体制整備モデル事業(地域づくりのプラットフォームの検討)の概要について (4) 第5期市地域福祉計画、第9期市高齢者保健福祉計画及び共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランの一体的策定について (5) 介護予防・健康づくり普及啓発はがき事業の実施報告について (6) 介護保険制度の見直しに関する意見(概要) 4 閉 会		

審 議 経 過

1 開会

2 議題

・事務局より資料に基づき説明を行った。

(1) 全国統一評価指標による地域包括支援センター等の事業評価について
議題のとおり承認された。意見は次のとおり。

(穂刈委員) 市の自己評価について、所管課が評価しているのか。

(事務局) 所管課である地域包括ケア推進課が評価を行っております。

(穂刈委員) 市町村指標による自己評価の個別業務(1)総合相談支援業務、(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、(5)介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の令和2年度と令和3年度の実績が横ばいとなっており、改善できなかったところは何に問題があって、これからどう改善していくのか。

また、地域包括支援センター(以下「包括」という。)指標による自己評価にて評価指標の考え方について意見交換を行う場を設け、考え方が統一したということだが、市の評価と包括の自己評価の結果で、(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の評価に特に大きな差があるのはなぜか。

(事務局) 令和2年度の未達成項目について、令和3年度に協議等を行い、令和4年度から適応をしていることから、令和3年度の実績としては未達成となっている項目がございます。今後も、改善に向けて取組を進めてまいります。

市の評価と包括の評価に差がある点については、市町村指標と包括指標の評価項目が異なるため、結果に差が生まれたと考えられます。

(坂本委員) 全国統一評価指標と、相模原市の指標の中身は違うのか。市独自の追加の評価指標はあるのか。

(事務局) 同じ指標を活用しております。市独自の評価項目は追加しておりません。

(坂本委員) 現在プラットフォームを立ち上げており、今後包括やコミュニティソーシャルワーカー等(以下「CSW等」という。)が重要となってくるため、委託期間を10年間にした方が安定すると思う。

また、包括の職員の人材確保のために、手当などをアップしていかないと良い人材が集まらないのではないかと思います。しかし入札金額を上げて法人に入り、包括職員に入るわけではないため、包括の手当てを市独自で策定をしてもう少し包括職員の待遇を良くしてもらいたい。

(事務局) 現在、6年ごとに地域包括支援センターの運営法人の公募をして選考しております。次期の公募に向けて、全国の動向も把握しながら、期間の延長等についても検討してまいります。包括職員への処遇の改善については、各法人の給与規定もあるため、各法人の意見も確認しながら効果的な方法を含め検討してまいります。

(2) 地域づくりについて

①令和4年度地域ケア会議（地域づくり部会）の取組状況について

意見はなく、議題のとおり承認された。

②高齢者移動支援推進モデル事業について

議題のとおり承認された。意見は次のとおり。

(古木委員) 病院などの他に、イベントに参加したいとか高齢者の施設に連れて行ってほしいなどステップアップしたような具体的な希望はないのか。

(事務局) 事前に各地区でアンケート調査を実施したところ、通院と買い物の2つが圧倒的に多い状況でございました。その他の意見として、イベントや観光施設に行きたいといったご意見もございました。

(坂本委員) 移動支援や買い物支援は、地域の社会福祉法人が全面的に協力してくれるからできる。個人の自家用車を使用した場合、事故があった場合の対応や補償の問題を考えると、出来るだけ社会福祉法人と連携した体制を組んでほしい。それに対する費用負担や補助はあるのか。

(事務局) 社会福祉法人の車両やドライバーの活用については、引き続き連携しながら進めていきたいと考えております。自家用車については、地域で行ったアンケートの結果から自分たちの慣れた車で運転をしたいというご意見もございます。最近はボランティア運行も広がっており、それに応じた保険商品も損害保険会社から複数出ている状況のため、そういったものをご活用いただきながら、その保険料に対して運行費用の補助など、支援してまいりたいと考えております。

(坂本委員) 通院支援を始めたが、待ち時間が長いため、通院についてはタクシー券で行ってもらった方が良いと思う。また、大沢地区で送迎を行っている病院があり、それが一番良いと思う。

(小林立委員) 1月21日の読売新聞に本市緑区若葉台でグリーンスローモビリティの運行が施行されたと掲載をされていた。今後、住民主体（ボランティア）で運営していくと掲載されていたが、包括が関わっている話なのか。

(事務局) グリーンスローモビリティの市の主管課は交通政策課ではございますが、対象となっている若葉台地区は高齢化率が極めて高い57%という地区で、そのような状況からも包括や地域包括ケア推進課も一緒に連携を図りながら地域の移動手段の確保ということで地域、市役所一体となり検討を進めているところでございます。

(穂刈委員) 新磯地区もグリーンスローモビリティのモデル事業に手上げをしたが、その際の主体は地区社会福祉協議会が中心となっている。

移動支援の今後の方向性として、令和5年3月（予定）でモデル事業の事業結果報告会を開催し、モデル地区以外の事業の展開を図ると説明があったが、いつ、どのような単位で説明会を行うのか、また、運行費用の補助の中で、運行調整に要する経費とあるが具体的には何を指すのか。

(事務局) モデル事業の報告会は3月下旬にあじさい会館のホールで開催する予定で検討を進めております。また、29圏域で実施している地域づくり部会などの機会を捉え、個別にご説明をさせていただきたいと考えております。運行調整に係る費用につ

いては、誰がいつ乗るかなどの調整に人も電話も必要でございまして、そのような費用を想定しております。

③シニアサポート活動及び担い手の育成に関する取組状況について

議題のとおり承認された。意見は次のとおり。

(佐藤委員) 担い手の育成に関する取組状況の研修として、団体運営・組織運営などの研修はあるのか。

(事務局) どのように活動していくかについては、養成研修で具体的に説明をさせていただいております。また、実際の活動については市社会福祉協議会のCSW等が団体に寄り添いながら継続支援をしております。

(畠山委員) 3月11日、担い手養成研修が開催される。ポーノ相模大野で開催する予定で、目標としては100名の増員を考えている。研修内容としては、地域ケア会議の取り組み、ちょこっとボランティアからそばづくりを通して仲間づくり、さわやか夢クラブの活動等を3月7日に老人クラブとしての開催を決定している。

(坂本委員) 外出支援として、シニアサポートの通所型に該当者を運ぶのは該当しないのか。費用負担はあるのか。

(事務局) 訪問型の中での移動支援となるため、対象になりません。ただし、通所型については団体の任意とはなりますが、スタッフが参加者の送迎を行っております。費用負担につきましては、送迎加算として補助金の交付を行っております。

(3) 相模台第2地域包括支援センターの移転について

意見はなく、議題のとおり承認された。

3 報告

・事務局より資料に基づき報告を行った。意見等は次のとおり。なお、報告事項(3)(5)(6)について意見等はなかった。

(1) 健康づくり推進条例について

(坂本委員) 市職員等がまず実践をし、手本を示して、市民にしっかり推進してもらいたい。

(2) 津久井地域における高齢者等の移動支援について

(穂刈委員) この事業は、津久井地域に特化しているのか。2圏域の地域づくり部会で移動支援について検討しているが、そこでの整合性はどうなっているのか。

(事務局) 中山間地域を含む津久井地域という地理的要因から津久井地域に特化して検討をしております。地域づくり部会へも情報提供を行いながら連携をして行っていきたいと考えております。

(穂刈委員) なぜ津久井地域に特化しているのか。

(事務局) 津久井地域の高齢化と地理的要因から、中山間地域を含む津久井地域で重点的に移動支援を行うことといたしました。

(穂刈委員) 地域差はあるが、津久井地域以外にも生活交通の不便地域がたくさんある。そういった地域で、地域づくりの中で移動支援を検討しようとする事業をスタートしている現状がある中で、それと別で津久井地域に特化した取組を行うことの理解ができない。

(水上会長) 具体的に、買い物に要する時間が中山間地域だと余計にかかるというような客観的なデータがあると津久井地域に特化している理由がわかりやすいかもしれない。

(坂本委員) ぜひデータを集めてもらいたい。そして、3年ではなくできる限り取組を継続してほしい。

(4) 第5期市地域福祉計画、第9期市高齢者保健福祉計画及び共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランの一体的策定について

(古木委員) CSW等は、どのような資格で何人くらい配置されているのか。

(事務局) 各まちづくり区域である22圏域に配置しており、地域の困り事など全般的な相談支援を行っております。また、市社会福祉協議会に補助を出し、配置しております。

4 閉会

以 上

相模原市地域包括支援センター運営協議会委員名簿 令和5年1月26日開催

No.	氏名	ふりがな	選出団体等	出欠	備考
1	石井 和子	いしい かずこ	相模原市民生委員児童委員協議会	出席	
2	石川 寿美子	いしかわ すみこ	相模原市介護老人保健施設協議会	出席	
3	梶山 和美	かじやま かずみ	神奈川県看護協会相模原支部	出席	
4	栗田 愛子	くりた あいこ	公募市民	欠席	
5	黒沢 慎五	くろさわ しんご	さがみはら介護支援専門員の会	出席	
6	小林 輝明	こばやし てるあき	相模原市社会福祉協議会	出席	
7	小林 立	こばやし りゅう	相模原市高齢者福祉施設協議会	出席	
8	坂本 洋三	さかもと ようぞう	相模原市地区社会福祉協議会	出席	
9	佐藤 優子	さとう ゆうこ	公募市民	出席	
10	澤田 弘之	さわだ ひろゆき	相模原市薬剤師会	出席	
11	田中 雄一郎	たなか ゆういちろう	相模原市歯科医師会	出席	
12	富樫 るみ	とがし るみ	友知草の会	欠席	
13	畠山 秀美	はたけやま ひでみ	相模原市老人クラブ連合会	出席	
14	幡野 公香	はたの きみか	神奈川県社会福祉士会相模原支部	出席	
15	原田 裕也	はらだ ゆうや	神奈川県弁護士会相模原支部	出席	
16	久松 信夫	ひさまつ のぶお	学識経験者	出席	副会長
17	舟戸 麻衣	ふなど まい	日本公認会計士協会神奈川県会	出席	
18	古木 玲子	ふるき れいこ	公募市民	出席	
19	穂苅 健二	ほかり けんじ	相模原市自治会連合会	出席	
20	水上 潤哉	みずかみ じゅんや	相模原市医師会	出席	会長

五十音順